

平成 22 年 2 月 26 日

福井市花堂中 2 丁目 15 番 1 号  
(コード番号 3408 東証第 1 部)  
サカイオーベックス株式会社  
代表取締役社長 松木伸太郎  
Tel 0776-36-5800

各 位

## 超軽量炭素繊維織物の開発について

サカイオーベックス株式会社（本社：福井県福井市、代表取締役社長：松木 伸太郎）は、このたび、東邦テナックス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三嶋 孝司）と共同で、従来の最も薄いとされている炭素繊維織物と比べて、1/2 以下の重量の炭素繊維織物を開発することに成功しました。

一般的にプリプレグを使用した成型物は、穴を開けるなど加工時のひび割れ防止と表面の意匠性を目的に、最外層表面に炭素繊維織物を貼付しております。

一方で、製品の軽量化のため、表面の炭素繊維織物の薄肉化・軽量化が求められております。今回開発した炭素繊維織物は、織物の交点を薄く設計できるため、繊維のうねりが少なくなり高いコンジット物性の発現率を得られます。

このたび開発に成功した炭素繊維織物は、東邦テナックス(株)が新たに開発した極薄織物用炭素繊維原糸を、サカイオーベックス(株)の開織加工・製織加工技術により、織物厚さ 0.06mm まで薄肉化した超軽量織物です。

従来の最も薄いとされている炭素繊維織物の重量（120 g/m<sup>2</sup>）の約 1/2 の重量（60 g/m<sup>2</sup>）と非常に軽い織物にすることができるため、ゴルフクラブなどの成型品の重量を軽くすることのみならず、剛性設計の自由度を上げることが可能になります。

今後は、ゴルフシャフト・テニスラケットなどのスポーツ用品用途に留まらず、パソコンの筐体など、意匠性と同時に強度保持・軽量化が求められる用途に展開します。



織物写真

<この件に関するお問い合わせ先>  
サカイオーベックス株式会社  
テクニカルセンター  
複合部材開発グループ 担当:河野  
電話:0778-34-8680

以上